

会 議 概 要

会 議 名	令和8年度第1回平塚市博物館協議会		
開催日時	令和8年8月18日（火） 10時～12時		
会 場	平塚市博物館科学教室		
出席者	委員6人（小倉会長、金子副会長、大田委員、沢井委員、杉之原委員、広谷委員） 事務局6人（社会教育部長、博物館長、学芸担当長、管理担当長、学芸担当主査、管理担当主管）		
議 題	1 報告事項について 2 令和8年度事業計画について 3 その他		
公開・非公開	公開	傍 聴 者	なし
【審議等概要】 1 報告事項について （1） 令和7年度博物館活動状況について、次のような意見をいただいた。 ・新聞やテレビなどメディアからの取材については、多くの人が情報を受け取り社会に対する訴求力が大きいので、外部依頼として公表し実績にするとよい。 ・企業からの依頼や共同事業も、依頼があれば実施してほしい、実績も公表してほしい。 （2） 令和7年度の刊行物販売実績について、次のような意見をいただいた。 ・充実した内容の図録が割引価格で購入できることをもっと周知してほしい。 ・この価格であれば小学生も購入しやすいので、子どもたちへの周知も検討してほしい。 ・県内の各自治体が一堂に集まり、自治体史や博物館刊行物のフェアなどを実施すれば、もっと多くの購入が見込める。 ・完売したものは、PDF版をホームページで公開してほしい。 ・夏期特別展の図録も大変面白いので、著作権とは関係ない個所をホームページで紹介して、「詳しくはひらはくへ」などと案内すれば、更なる来館者や図録の購入が見込める。 ・引き続き、図録や博物館資料のネット公開を検討してほしい。 ・書店に委託して、図録を販売してもらうことも方法である。 （3） 開館50周年記念特別展「ひらはく50年 市民と歩む地域博物館」について、次のような意見をいただいた。 ・講演は立ち見が出るほどに盛況であり、平塚市博物館での思い出を訪ね来館される方が目についた。 ・来館者からは、50年経過しているので、改修や建て替え、休憩用椅子の設置、トイレの改善などの要望があった。 ・「守る残す伝える」という切り口は大変分かりやすくよかった。 ・内輪だけの盛り上がりになりがちなテーマであったが、内部的な話と来館者向けのものが大変バランスよく構成され、公共施設としての存在意義が伝えられていた。 ・アンケートから量的評価と質的評価が得られる。質的評価を得るには、アンケートの自由記述の他に、来館者の行動の追跡調査やインタビューという方法もある。インタビューでは特定のフォーカスグループを設定して深く聞いていくと良い。 ・講演会のアンケート結果は、AIなどを利用して、傾向を分析してほしい。 （4） 博物館子どもフェスタ2025について、次のような意見をいただいた。 ・2日間の来館者数に差があるので、プログラムの構成に検討の必要がある。 2 令和8年度事業計画について ・特別展では重要なものを借用し展示するようなので、借用の条件を満たすことや保管方法には注意してほしい。 3 その他 第2回協議会は11月を予定し、改めて日程調整を行うことを確認した。			
問合せ先 （事務局）	平塚市教育委員会 社会教育部 博物館 管理担当 電話番号 0463-33-5111（代）		